

---

despair

雨野知晴

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

despair

### 【コード】

N2290H

### 【作者名】

雨野知晴

### 【あらすじ】

絶望が終わり悲しみの連鎖の始まりを示す物語

## （前書き）

前から見て下さった方はお久しぶりです。もしくははじめてみて下さった方ははじめまして。今回の物語は野路の羅列をつなげたようなただのシリアスなので痛いのが嫌いという方は引き返してください。

- - - 貴方は消えない過去を持っていますか…

…私があります。

永久に消えず今も私をむしばむ怨嗟

気を抜くと呑まれてしまいそうな強い憎しみ

ふとした時に襲いかかる深い絶望

自分が壊れてしまいそうな過去

いまだかつて襲われてくる虚無

心落ち着く暇のないほどに強い恐怖

それほどの酷い現実を突きつけられた人間の心は保っていられるか…

否、だから壊れている自分

頭までどっぴりとつかった絶望の淵

もう治せない過去

だれが責任を取ってくれるのだろうか…

虐めた人間？

助けることを拒否して逃げて行った担任？

事態を半年以上も傍観していた全教員？

何も気づかなかった親？

それとも自分？

自分ならどうすればいいのだろうか？

声を張り上げ必死で毎日戦っていたのに

決して誰も助けられなかった

私が本当に壊れるまで誰も助けられなかった

人を信じることのできない

だれかに本音を話すことができない

人が近くにいると真の安らぎが得られない

ただ人がいるだけで恐怖する自分

壊れたようなことしか言えなくなった

まるで機械のように感情が現れなくなった

いまだに心を鎖でむしばむ…

そして私はいまだに忘れることができない…

それはきつと永遠に…

そう…

この終わりは始まりの d e s p a i r

全てを信じられなくなった人の P r e l u d e

そして始まるであろう崩壊の未来なのだから

(後書き)

どうでしたでしょうか。

これは私の持論なのですが苛めていた人間が停学になったからって虐められていた人間の心の傷は決して治ることはない。

といった持論からそこから絶望に落ちてしまうといった人間の心理描写を何となく書いてみました。

一部作者の過去からの心理を持つてきたというのもありますので全くのノンフィクションとは言い難いですがとりあえずここまで読んで下さった方に感謝です。

ありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2290h/>

---

despair

2010年12月7日02時43分発行